

第2回 避難訓練

1 日 時

11月5日（水）2校時終了休み時間

生徒…訓練日時を知らせず。

職員…訓練時間を知らせず。

2 場 所

一次避難；校舎内外全ての施設を想定。

二次避難；校庭へ避難。

3 想 定

休み時間に地震発生。

電源喪失そして火災発生。（階段2箇所封鎖）

行方不明，怪我人有り。

4 ねらい

学校における火災や自然災害，その他の非常事態発生時における事故を未然に防止するため，避難及び防災対策に万全を期すとともに，職員並びに生徒の意識高揚をはかる。

5 内 容

(1) 1校時終了後の休み時間に発生。

① 災害発生（地震）

② 一次避難（様々な場所で，自分の安全を確保；教員はその場の生徒に安全確保の指示）

→ 学年主任は各学年フロアへ。担任は自分の教室へ。副担任は職員室へ急行した。

③ 二次災害発生（火災）

→ 副担任は，消火班及び検索班に分かれて行動（教頭の指示）。

④ 避難行動開始

→ 行方不明者確認。検索

→ 行方不明者発見。担架要請，救助。

⑤ 二次避難完了確認

(2) 放送を避難誘導に使わない。



一次避難の様子。廊下にいた生徒は，安全な場所で身を守る。校庭にいた生徒は，中央に集まりしゃがむなど，いた場所により，避難の方法を変えた。

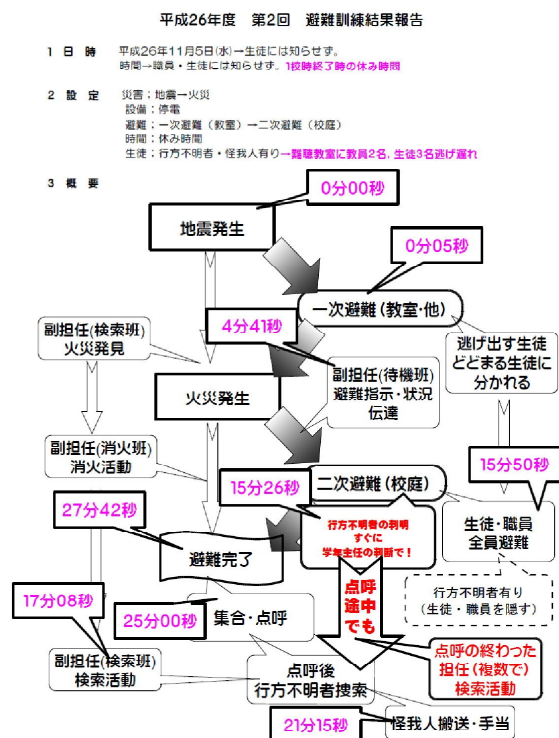


二次避難の様子。風上に本部を置き、少しでもハンドマイクの声が聞こえる位置取りを行った。



行方不明者の検索を行い、怪我人を発見後、応援の先生方と怪我人を搬送し校庭へ避難させた。

6 結果・成果



地震発生から避難完了までは、27分42秒かかっている。今後はこの時間を早めることが課題である。

二次避難指示が出て、生徒点呼の報告までは11分31秒である。昨年度は14分かかったことを考えれば、訓練の意味が反映されているように感じられる結果である。今後訓練を繰り返し、訓練の在り方、内容を検討していき、非常時における生徒の安全確保の在り方をさらに検討していきたい。